

Dropboxデータクラウドサービスの活用法

Dropbox（ドロップボックス）とは、ファイル管理クラウドサービスのことをいいます。WordやExcel、写真など普段よく使うデータを保存しておくことに長けています。長期保存しておくようなデータはEvernoteで保管することをお勧めします。

例えば、こんな悩みがありませんか？

- ・データファイルの受け渡しはUSBで行っているが、その都度受け渡しが面倒。また、USBメモリを紛失してしまう。
- ・社内で途中まで作成した資料の続きを、自宅でもやりたい…。
- ・スマートフォンに保存している写真をパソコンに転送したい。
- ・メールでは送れない大きなサイズのファイルをお客さんに送りたい。
- ・お客さんとのデータのやり取りをメールで行っていて、最新版がどれか分からなくなってしまう。

このような悩みがある方はDropboxがオススメです！

Dropboxの主な特長。

1. 使い方が簡単。（普段のパソコン操作と同じ様な使い方で操作できます）
2. 利用する機種は問いません。
（Windows、Mac、Android、iPhone、iPad、タブレット）
3. どんな形式のファイルでも保存できます。（形式は問いません）
4. Dropboxに保存すると自動で同期を取ってくれるので、他の端末でも最新の状態を確認できます。更に、バックアップの役割も果たします。
5. 現在、Dropboxと連携しているiPhoneアプリが多数あります。
今後も新しい他のアプリが、連携アプリとしてDropboxを選択する可能性が高いです。

Dropbox 容量について

Dropboxには3つのプランが用意されています。(29年3月現在)

	費用	容量
Dropbox Basic	無料	2 GB
Dropbox Plus (個人向け)	月々の場合¥1,200/月 年払いの場合¥12,000/年	1 TB (1024GB)
Dropbox Standard (チーム向け)	月々の場合¥4,860~/月 (1ユーザーあたり¥1,250 最小3ユーザーから) 年払いの場合¥48,600~/年	2TB (2048GB)
Dropbox Advanced (チーム向け)	月々の場合¥7,776~/月 (1ユーザーあたり¥2,400 最小3ユーザーから) 年払いの場合¥77,760~/年	必要に応じた容量
Dropbox Enterprise (チーム向け)	価格は問合せにて	必要に応じた容量

会社で使う場合は「Dropbox Plus (年額12,000円)」または「Dropbox Standard (年額48,600円～)」をお使いください。

参考URL : <https://www.dropbox.com/plans?trigger=homepagefoot>

個人向け有料版とチーム向け有料版の違い

	Dropbox Plus	Dropbox チーム向けプラン
バージョン履歴とファイル復元 (間違って消してしまった時 や、間違って上書きしてしまっ た時などに便利)	30日以内 であれば、過去の ファイルバージョンや削除し たファイルを復元することが できます。	120日以内 であれば、過去のファイル バージョンや削除したファイルを復元 することができます。
企業管理グループ (共有アクセス権) (社内で、部署ごとにアクセス 権をつけたい時に便利)	アカウント管理機能は無し。	アカウント管理可能。 部署ごとや担当者ごとにアクセスでき るフォルダやファイルを管理するこ とができます。

5人以上の社員間で、Dropboxをファイルサーバーとして利用したい時は、Business版をお勧めします。

5人以下であれば、多少面倒ですが、アクセス制限付きの共有フォルダを作成できます。

実際の利用方法手順

①アカウントの作成方法

Dropboxを利用するにはアカウント登録が必要です。
(無料アカウントと有料アカウントがあります。)

有料プラン (Dropbox Plus) にすると、Dropboxの容量が1 TBになります。
(無料プランの場合、Dropboxの容量は2 GBです。)



The screenshot shows the Dropbox website interface. At the top left is the Dropbox logo, and at the top right is a blue button labeled "アップグレード". Below the header are three feature cards:

- すべて保存**: 1 TBもの容量があるのでパソコン、スマートフォンにあるデータは全てDropboxに。これだけでバックアップも完了。もうデータを失う心配もありません。 (Illustration: open box with documents)
- いつでも、どこでもアクセス**: 外出先のパソコンから、移動中のスマートフォンから、保存したデータはいつでも、どこからでもアクセス可能。 (Illustration: laptop, smartphone, tablet)
- 選択型同期**: 古いデータや画像ファイルはクラウドだけに保存。選択型同期を使ってパソコン本体のストレージを確保し作業効率を落としません。 (Illustration: laptop with sync icon)

At the bottom, there is a large illustration of a coffee cup, a smartphone, and a document with a donut graphic. To the right of this illustration is the text:

大切なファイルをすべて Dropbox に保存

1 TB (1,000 GB) の容量があれば、大切なファイルをすべて保存することができます。1 TB (1,000 GB) の容量、Dropbox独自の同期機能、あらゆるデバイスでも利用できるオフラインアクセス機能で、すべてのファイルにいつでもどこからでもアクセスできます。

Dropbox Plus (年間12,000円) を利用することで、より沢山のデータをクラウド上に保存することができます。

その他にも、

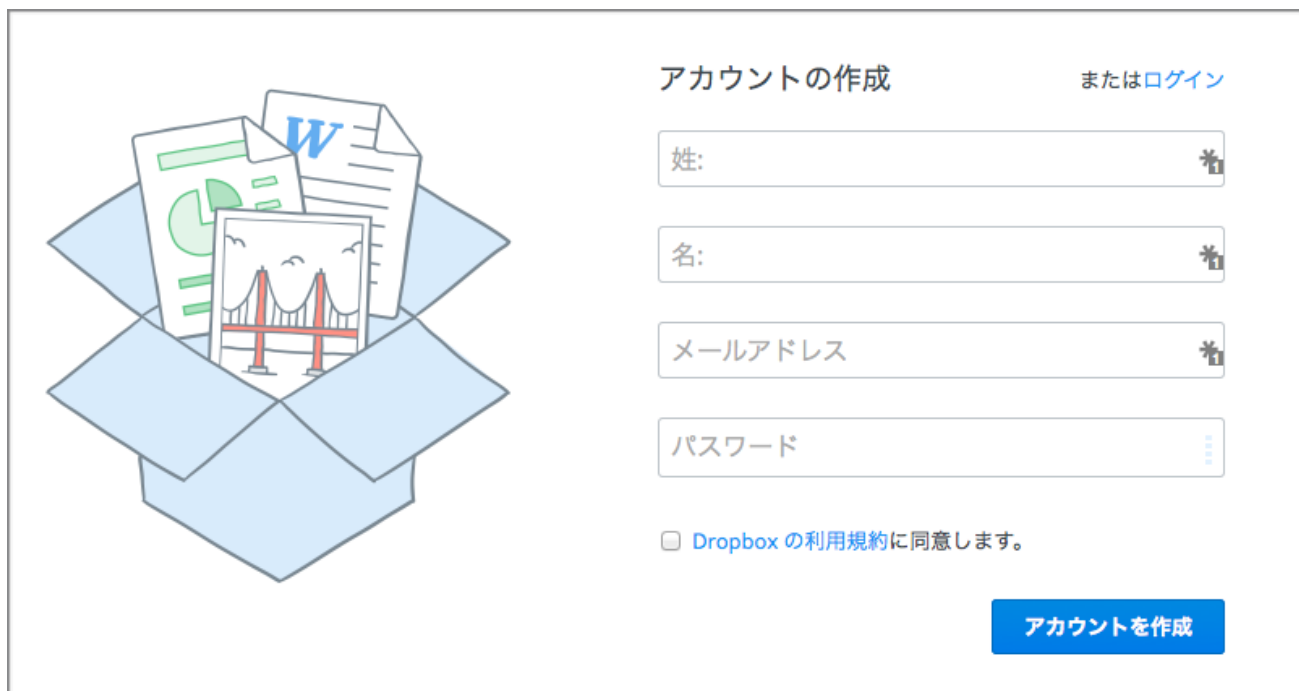
- ・「共有リンク」にパスワードが設定できる
- ・「共有リンク」の有効期限が設定できる
- ・「共有フォルダ」の権限を設定できる

といった機能が利用できるようになります。

(「共有リンク」「共有フォルダ」の使い方はこの後説明します。)

(1) Dropboxのホームページからアカウントを登録します。

<https://www.dropbox.com/login>



アカウントの作成 またはログイン

姓:

名:

メールアドレス

パスワード

Dropbox の利用規約に同意します。

[アカウントを作成](#)

- ・ 姓
- ・ 名
- ・ メールアドレス
- ・ パスワード (※6文字以上である必要があります。)

上記4項目を入力してアカウントの登録を行います。

(必ず「Dropboxの利用規約に同意します。」にチェックを入れて下さい。)

②パソコン/iPhoneで、ファイルをDropboxに保存する方法

まずは、パソコンにDropboxをインストールします。

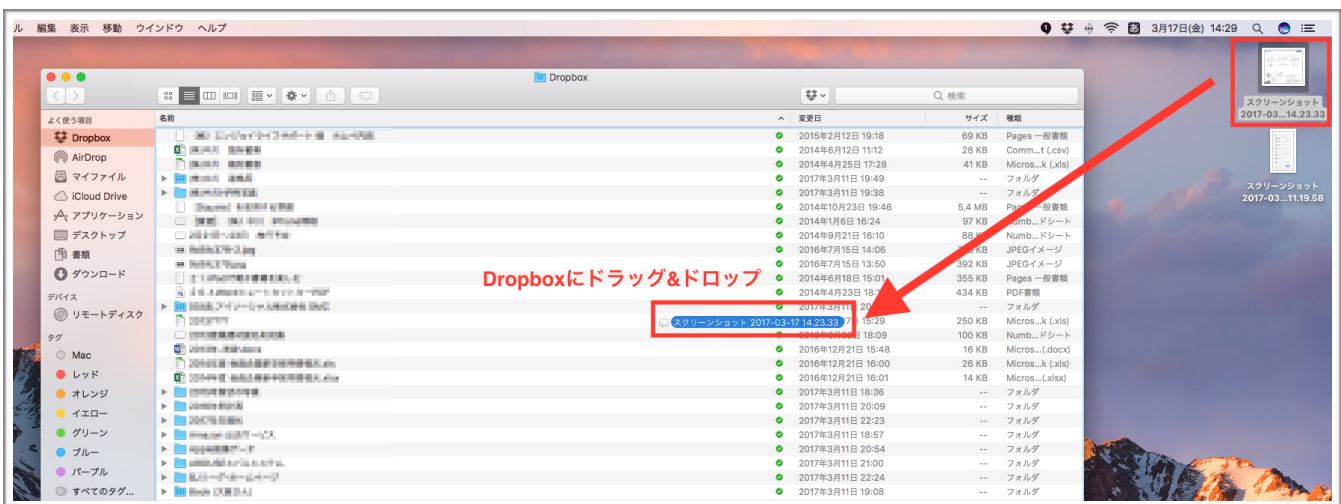
- (1) 「Dropbox ダウンロード」と検索して、ソフトをダウンロードします。
- (2) インストールを行います。
- (3) 「すでにDropboxアカウントを持っています」にチェックをし、メールアドレスとパスワードを入力してログインします。

次に、iPhoneにDropboxアプリをダウンロードします。

- (1) 「App Store」で『Dropbox』を検索し、ダウンロードします。
- (2) メールアドレスとパスワードを入力してログインします。

★パソコン側でファイルを追加する方法

Dropboxフォルダにファイル（またはフォルダ）をドラッグ&ドロップします。
この操作を行うことで、Dropboxのデータ内にファイルが同期されます。

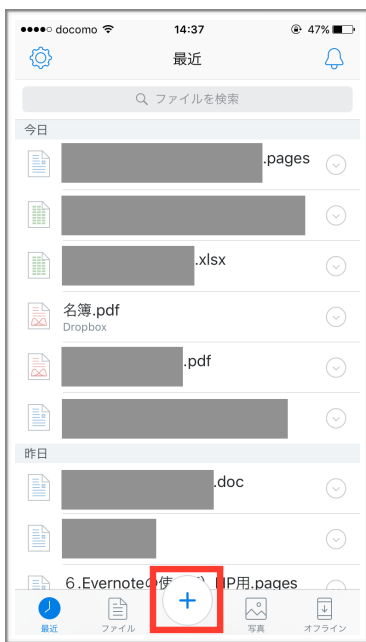


※同期が完了すると、アイコンのマークが青色から緑色のチェックマークに変わります。

★iPhone側でファイル（写真）を追加する方法

- (1) Dropboxアプリを開き、画面下部の「+」をタップします。
- (2) 3項目の中でアップロードしたいデータ種類をタップします。
- (3) Dropboxに保存したいデータを選択して、右上の「次へ」をタップします。
- (4) 「フォルダを選択してください」をタップして、アップロードするフォルダを選択します。
- (5) フォルダを選択して、左下の「場所を設定」をタップします。
- (6) 右上の「アップロード」をタップします。

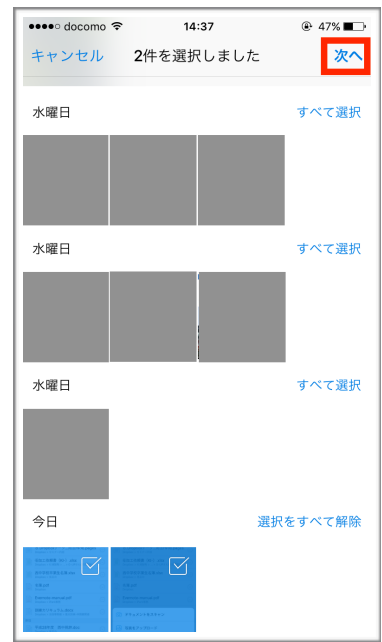
(1)



(2)



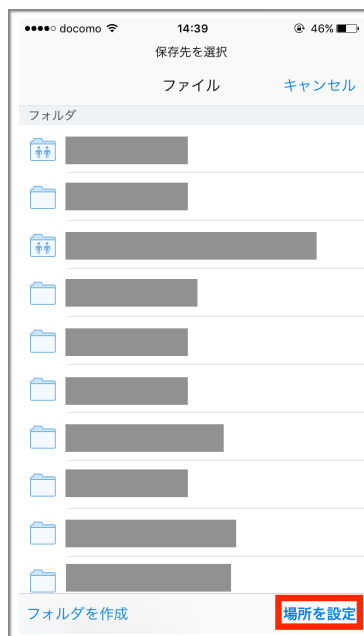
(3)



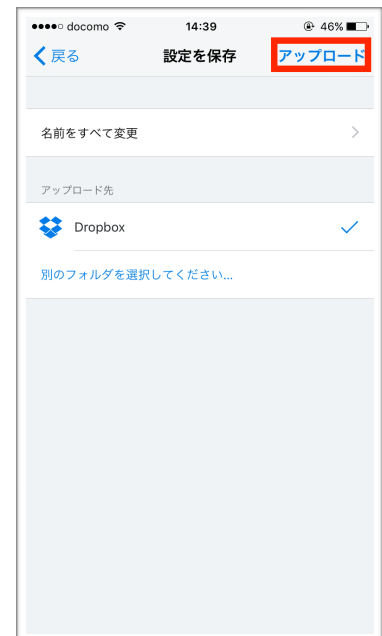
(4)



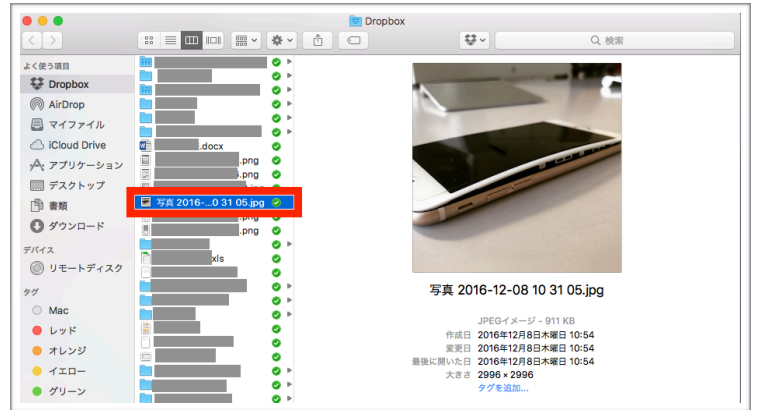
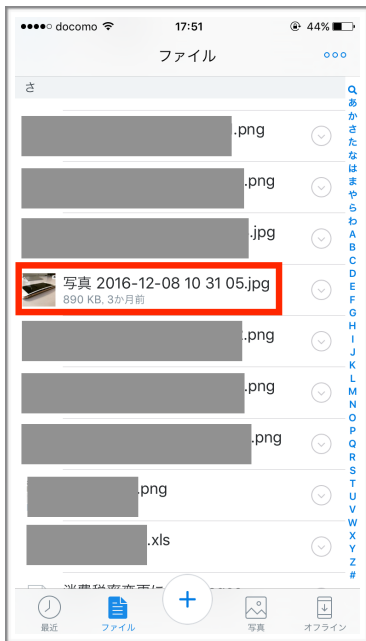
(5)



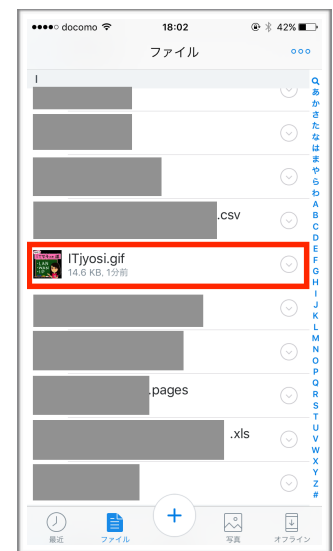
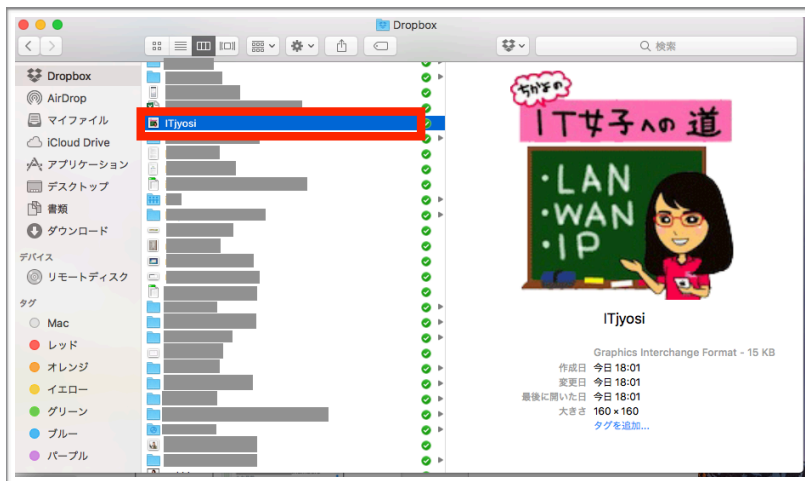
(6)



実際にiPhoneから写真をアップロードして、パソコン側で確認します。



実際にパソコンから書類をアップロードして、iPhone側で確認します。



※iPhone (Dropboxアプリ) で書類を開くと、どんな形式のものでも表示します。
iPhone側で直接編集したい場合は、形式が対応している編集アプリが必要になります。

(例) 「word」形式の書類をiPhoneで編集したい場合、iPhoneに「Microsoft Word」アプリがダウンロードされている必要があります。

③パソコン/iPhoneで、削除してしまったファイルを復元する方法

誤ってファイルを削除や上書きをしてしまった場合、有料版のDropbox Plusであれば30日以内なら復元可能です。（Businessであれば120日間です。）

※復元機能を利用するには、パソコンのブラウザ上で操作する必要があります。

(1)パソコンのブラウザ上でログイン後、右上のゴミ箱ボタンをクリックします。

すると Dropbox から削除済みのファイルも表示されるようになります。

★削除済みのファイルはグレーで表示されており、ファイルの種類も「削除した○○」になっているので一目で分かります(^^)



(2)復元したい、削除済みのファイルをクリックします。

（複数のファイルを選択したい時は Mac なら「Command (⌘)」、Windows PC なら「Control (Ctrl)」キーを押したまま、ファイルをクリックしていきます。）

(3)ファイルを選択したら【復元】をクリックします。



(4)確認メッセージが表示されるので【復元】をクリックします。

★ファイルが復元されていることを確認します。

ファイルの「種類」が「削除した○○」になっていなければ復元完了です。

「2014 セミナー申し込み表」を復元する

このフォルダは過去に削除されていますが、[フォルダを復元する] をクリックすると、そのフォルダに保存されていたすべてのファイルを復元できます。

フォルダ名	2014 セミナー申し込み表
日付を削除しました	2015/1/15 10:55
復元可能なファイル	123 件のファイル
	1月のセミナー申込書.numbers
	1月のセミナー申込書(PDF).pdf
	2月のセミナー申込書.numbers
	2月のセミナー申込書(PDF).pdf
	3月のセミナー申込書.numbers
	3月のセミナー申込書.pdf
	3月のセミナー申込書(PDF) のコピー.pdf
	4月～7月セミナースケジュール.pages
	4月～7月セミナースケジュール.pdf
	4月のセミナー申込書 .numbers

1 / 13 ページ [次 >](#)

フォルダを復元 キャンセル

④iPad・iPhoneで、Word、Excelファイルを編集する方法

iPhoneおよびiPadのアプリにWord、Excel、PowerPointアプリがあります。各アプリからDropboxに接続し、Dropbox内のOfficeファイルを編集することができます。**※事前にMicrosoftアカウントを作成しておく必要があります。**

アプリからDropboxへ接続する方法を紹介します。

(1)Word、Excel、PowerPointアプリを立ち上げて、「サインイン」をタップします。
(アカウントを持っていない場合、「アカウントの作成」からアカウントを作成します。)

(2)Microsoftアカウントを入力して、準備を完了させます。

(3)「作成および編集」をタップして、画面下部メニューの「開く」をタップします。
「+場所の追加」>「Dropbox」を選択すると、Dropboxの画面に切り替わります。
「許可」をタップすると、Word、Excel、PowerPointアプリにDropboxが追加されます。

※Dropbox画面時にログインを求められたら、メールアドレスとパスワードを入力して下さい。



(4)追加されたDropboxをタップすると、Dropboxに保存している各形式（Word、Excel、PowerPoint）のデータとフォルダが表示されます。

共有方法の説明をします（共有方法は2パターンあります）

共有その①：リンクアドレスを相手に教えてファイルをダウンロードしてもらう （特徴：相手がDropboxを使用していなくても、ファイルを渡すことができます）

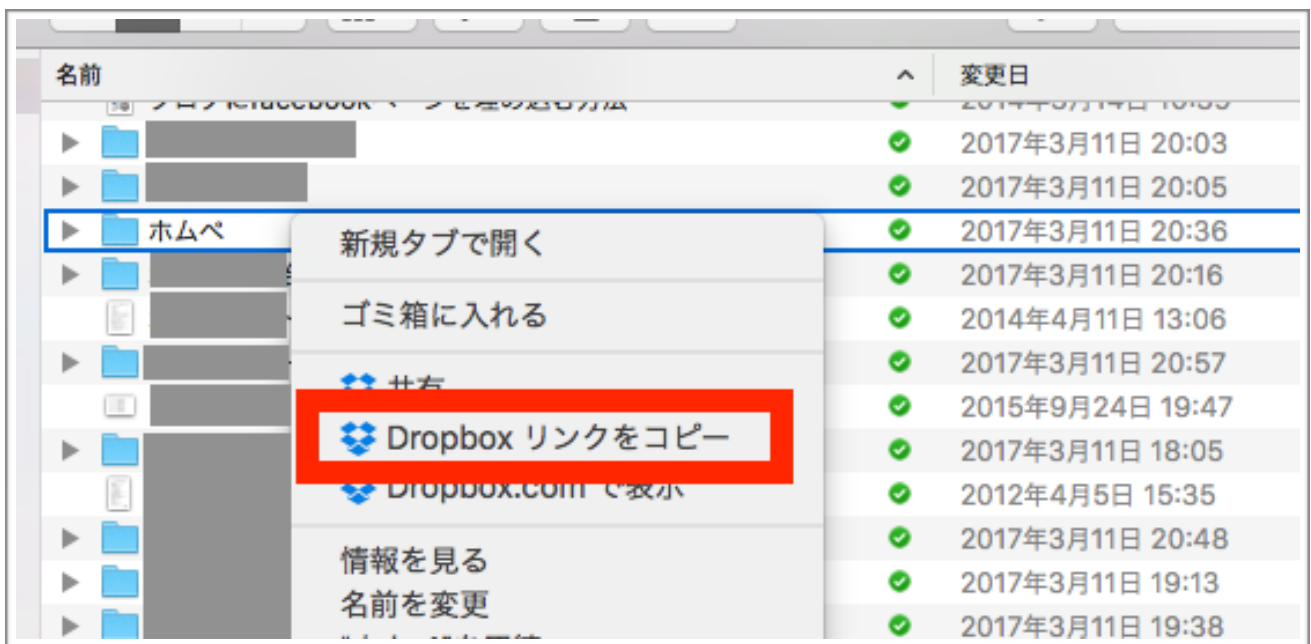
使い方の例として、

- 旅行などの大量写真をまとめて相手に渡すことができます。
- 会議資料など、相手にダウンロードしてほしいデータを容量を気にせず、一度に送ることができます。

*Mac：Finder上で操作する場合

(1)相手に見せたいファイル（またはフォルダ）を右クリックします。

(2)「Dropboxリンクをコピー」を選択します。



(3)リンクが裏でコピーされるので、メールなどを使用してコピーしたリンクを貼付けます。

(Mac：貼り付けのショートカットキー・・・「Command(⌘)」 + 「V」)

Mac・windows：ブラウザ上で操作する場合

(1) Dropbox ウェブサイトにログインし、共有するファイルやフォルダにカーソルを合わせ、**【共有】** をクリックします。



(2) リンクを作成していない場合は、**【リンクを作成】** をクリックします。



(3) リンクをすでに作成している場合は、**【リンクを表示する】** をクリックします。表示されたリンクをコピーして、メールやメッセージなど、共有相手がアクセスできる場所に貼り付けます。



取得したリンクはずっと有効なままとなります。

それが気持ち悪いなと思ったり、他人のアクセスが不要になった場合はフォルダやファイルを削除せずにリンクアドレスだけ削除（この世からなくす）ことができます。

その場合はブラウザ（ChromeやIEやSafari）からDropboxにログインして左側のサイドメニューから「リンク」を選んで下さい。

今までに取得したリンクがずらりと並んでいますので、リンクが不必要なものを選んで削除しましょう。

使い方や役立つ情報がたくさん！ Dropbox Navi | Dropbox Business をお試しください | Kimura Satoko

リンク

最近
ファイル
チーム
Paper
写真
共有
リンク
イベント
ファイルリクエスト
削除したファイル

取得したリンク一覧

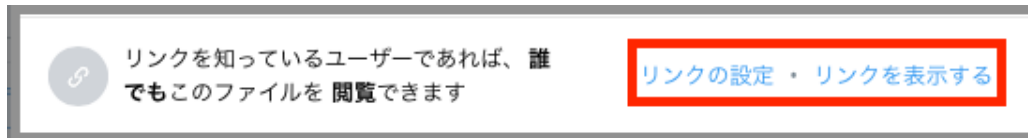
ファイルやフォルダへのリンクを作成することができます。他のユーザー（Dropboxに登録していないユーザーも含む）にリンクを送信すると、リンクを受け取った相手はそのファイルやフォルダを閲覧することができます。詳しくはここから

名前	作成しました
2016-05-03 11.57.48-1.mov	2016/5/10 23:30
	2016/5/9 23:30
	2016/5/9 23:27
	2016/5/9 17:21
	2016/5/9 17:21
	2016/5/6 14:48
	2016/5/6 13:55
	2016/4/24 17:22

例えばこの動画を送った相手がダウンロード完了したら→リンクを削除するとURLがなくなり、相手もアクセスできなくなります。

「Dropbox Plus（有料プラン）」および「Dropbox Business（有料プラン）」 の場合

「リンクの設定」をクリックすると、リンクのパスワードや有効期限を設定することができます。



共有その②：フォルダを共有して、双方で利用できるようにする

（特徴：双方共にDropboxを使っている場合、共同で編集することができます）

- 他のユーザーとDropbox内のフォルダを共有することで、同じファイルやフォルダで共同作業することができます。

共有フォルダ内で編集したファイルは双方のDropboxで瞬時に同期されます。

！注意！

相手の空き容量がどのくらいか確かめずに気軽に動画などを共有フォルダに入れてしまうと、相手のDropboxがパンクすることがあるので、大きめサイズのファイルをアップロードするときは確かめてからにしましょう。

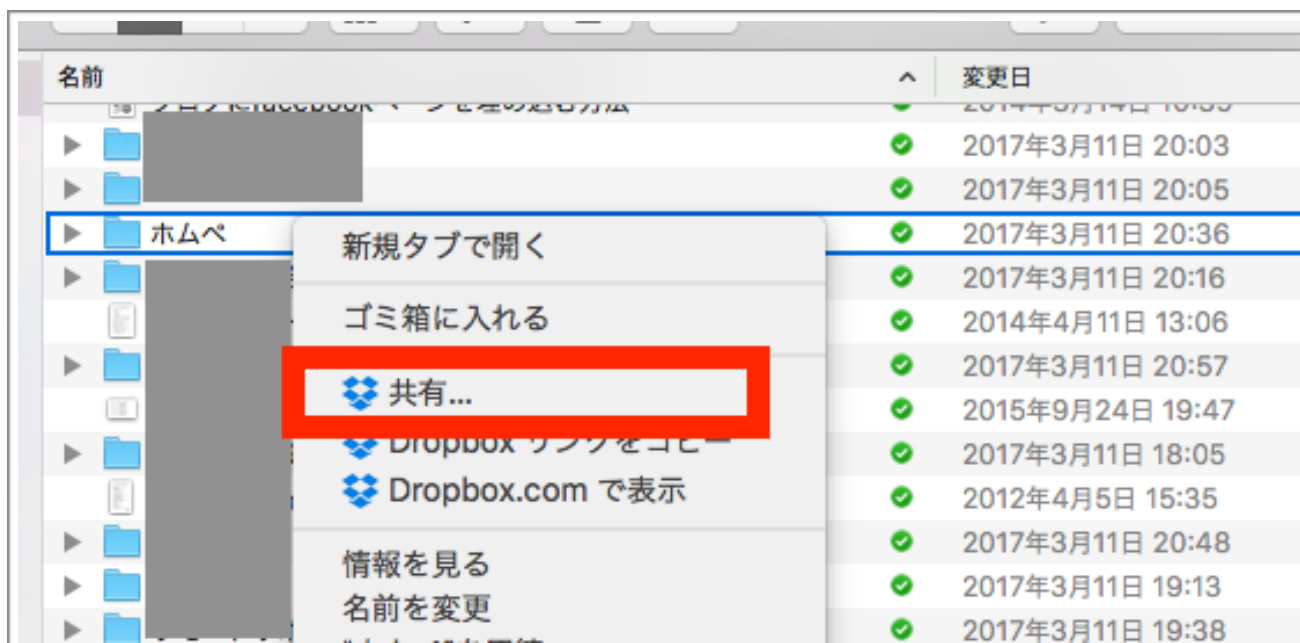
（その動画も、その次に共有フォルダに入れたファイルも相手に届かなくなります）

また、共有フォルダに必要なくなったファイルをずっと置いておくと、お互いの容量をその分食うことになっていきますので、必要なくなったら別の場所に移しましょう。

*Mac：Finder上で操作する場合

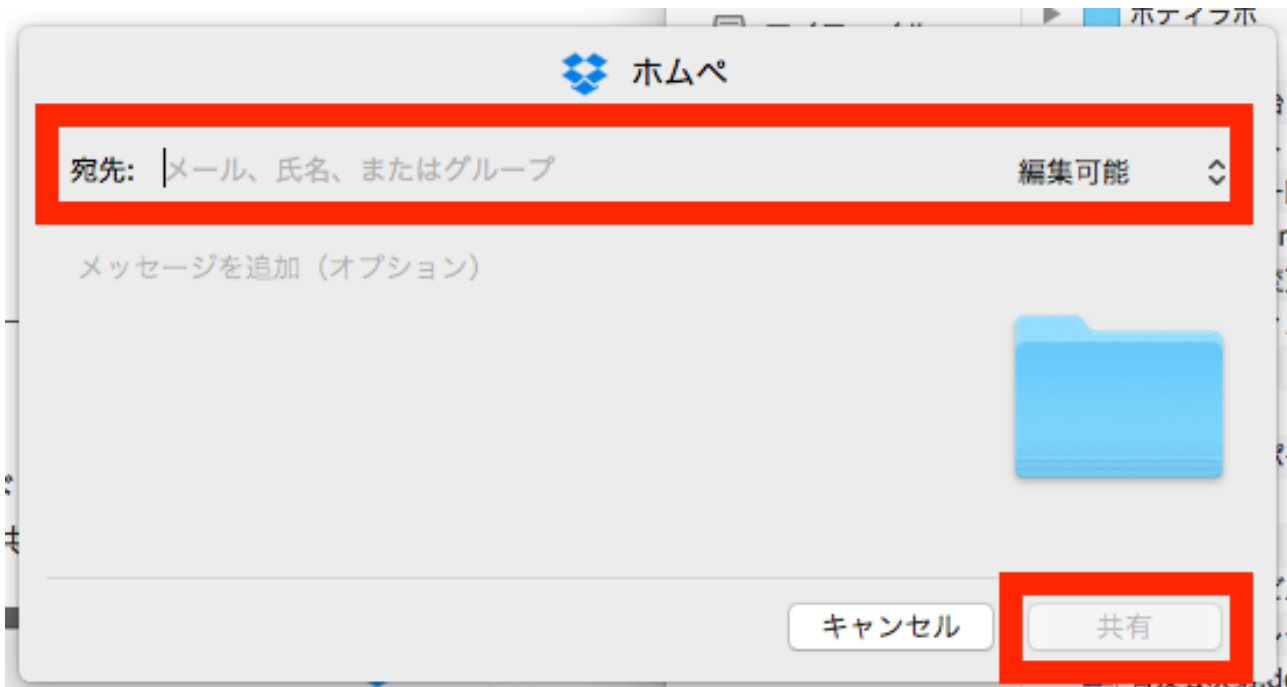
(1)相手と共有したいフォルダを右クリックします。

(2)「共有...」を選択します。



(3) 別ウィンドウが表示されます。

フォルダを共有する相手のメールアドレスを入力して [共有] をクリックします。



*MAC・windows：ブラウザ上で操作する場合

(1) Dropbox ウェブサイトにログインし、共有するファイルやフォルダにカーソルを合わせ、 [共有] をクリックします。

(2) ファイルのアクセス権を付与するユーザーの名前またはメールアドレスを入力します。フォルダを共有する場合は、プルダウン リストで [閲覧可能] をクリックします。

(3) ファイルに関するメッセージを追加して [共有] をクリックします。



※共有の招待に応じる方法（相手側の操作方法です。）

(1)共有フォルダの招待状はメールで届きます。文中のリンクをクリックします。



(2)Dropboxウェブサイトにログインし、Dropboxへログインします。

(3)ログインすると招待に応じるか否かを尋ねられるので、【承認】をクリックします。すると、Dropbox内に共有フォルダが表示されます。



*有料版「Dropbox Plus」 および「Dropbox Business」の場合

共有ウィンドウで [編集可能▼] をクリックすると、相手の権限を設定することができます。

- 編集可能・・・共有している相手も編集することができます。
- 閲覧可能・・・共有している相手は閲覧しかできません。



「Dropbox Business」について

料金説明 (H29.3 情報)

	Dropbox Basic	Dropbox Plus	Dropbox Business
価格	無料	¥1,200/月 ¥12,000/年	各プランで異なる
容量	2GB	1TB (1,000GB)	2TB (2,048GB)~
バージョン履歴	×	30日間	120日間
ユーザー管理	×	×	○

プラン名	価格	容量
Dropbox Standard (チーム向け)	最小3ユーザーから 月々の場合¥4,860~/月 (1ユーザーあたり¥1,250) 年払いの場合¥48,600~/年	2TB (2,048GB)
Dropbox Advanced (チーム向け)	最小3ユーザーから 月々の場合¥7,776~/月 (1ユーザーあたり¥2,400) 年払いの場合¥77,760~/年	必要に応じた 容量
Dropbox Enterprise (チーム向け)	価格は問合せにて	必要に応じた 容量

◇「ビジネス向けDropbox」に関して◇

- 最低3人の利用者から利用できる有料プランです。
- 利用者を増やしたい場合は、1ユーザー 月払い¥1,500/月・年払い¥15,000/年で利用する人数を増やせます。

*例えばバックアップ機能付きファイルサーバーを自社で購入した場合、費用として300,000円~400,000円ほど掛かります。

「ビジネス向けDropbox」は、3ユーザーの場合、年額48,600円でファイルサーバー以上の働きをしてくれるので、費用対効果も高いと思います。(Atandardの場合) 検討してみてください。

■個人向けプラン（無料版およびDropbox Plus）との違い

『ユーザーの管理機能』

ビジネス向けプランでは、ユーザーアカウントを管理することができます。

管理者は専用ページから**ユーザーの追加・削除**が行えるほか、各ユーザーの利用履歴・使っているデバイス（Dropboxに接続しているパソコン、スマホなど）・連携しているアプリなどをチェックできます。

例えば、あるユーザーの利用履歴から不正アクセスの可能性が考えられる場合は、強制的にパスワードを変更する・アクセス権限を変えるとといった措置が取れます。

『強化されたファイル・フォルダの共有機能』

「ビジネス向けプラン」であれば、部署ごとユーザーごとにアクセス権限を細かく設定できます。また、社外のユーザーとの共有も制限することができます。

『無制限に「ファイル復元」「バージョン管理」が使える』

「ファイル復元」とは、誤って削除したファイルを取り戻せる機能です。

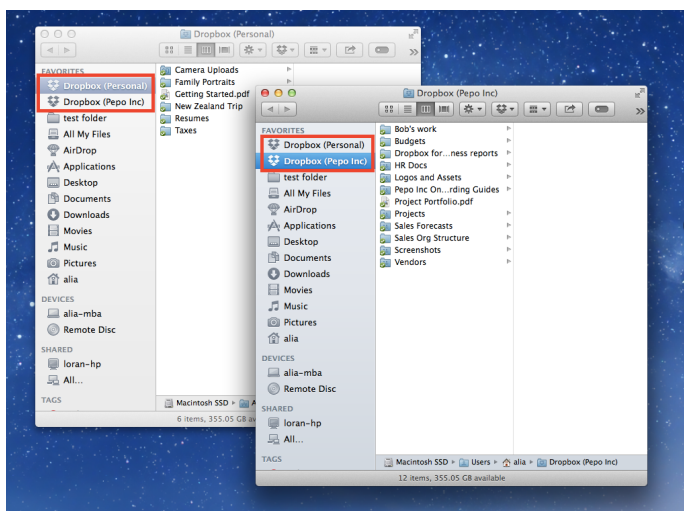
「バージョン管理」とは、ファイルに加えられた変更をそのつど自動保存して、後からファイルの内容を好きな時点に戻せる機能です。

ビジネス向けプランであれば、120日の間、復元やバージョンに戻すことができます。

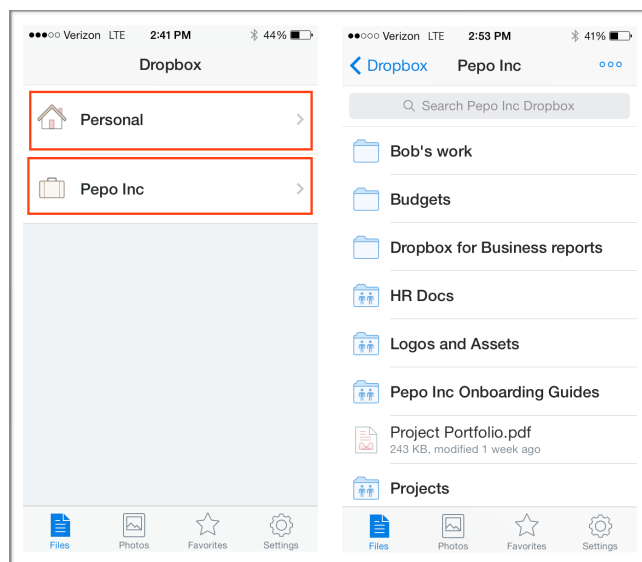
『個人用アカウントと会社用アカウントを統合』

「ビジネス向けDropboxアカウント」と「Dropbox Plusの個人用アカウント」の両方のアカウントを、1つのパソコンもしくはスマホに登録して使うことができます。

★退職等の理由で、管理者がユーザーのビジネス用アカウントの削除を行った場合でも、個人アカウントには影響ありません。



コンピュータ上での
個人用とビジネス用 Dropbox



iPhone上での
個人用とビジネス用Dropbox

『管理者ができること』

管理者が行える便利機能には主にこの5つがあります。

- ユーザー管理：ユーザーの追加や削除が行えます。
- 監視ログ：ログイン、共有、Dropboxに接続したデバイス、パスワード変更など、詳細なログ情報を確認することができます。
- 遠隔削除：デバイスに残っている Dropbox のファイルを遠隔削除できる
- 共有のチェック：共有しているファイルを管理者が確認できる
- ファイル引き継ぎ：廃止するアカウントのファイルを他ユーザーに引き継げる

10人以上の会社に導入するなら「ビジネス向けプラン」がオススメです！

無料プラン・プロプランといった個人向けプランでも、会社で使うことはできます。

しかし、会社が従業員のDropboxのアカウントを管理できないため、不正アクセス・情報漏えいといったリスクに対応できません。

さらに従業員が自分のDropboxアカウントでファイルを保管することになるので、その人が退職する際、スムーズにファイルを引き継げない可能性もあります。

こうしたリスク・問題を避けるためにも、会社にDropboxを導入するなら「ビジネス向けプラン」がオススメです。

ビジネス向けプランが30日間試用できる、トライアル版も提供されています。